

## 留学育英生からのたより

### スイス・ローザンヌ在住

第12回育英生 計良 龍成

黒田 武志 理事長様

拝啓 昨年中は、たいへん御世話になり、本当にありがとうございました。今年も宜しく願い致します。

さてこの度、『成寿』冬期号と中外日報の記事を送って頂きありがとうございました。米で仏教主義大学を設立するという構想を聞き、素晴らしいことだと思いました。計画が実現できますよう期待しております。

私の方は、ローザンヌに来てから二か月が経ち、ようやくこちらでの生活の勝手も分かってきたところです。先月中旬から授業が始まり、Tom J.F. Tillemens先生に『中観光明論』を一緒に読んでもらってます。私はこちらに来て初めてTom先生と会ったのですが、学問的には非常に厳しい先生ですが、人柄はとても気さくで、何でも話せる方なので、ほっとしました。何年間、ローザンヌに滞在することになるかまだ分かりませんが、早く言葉を覚え、実りある良い時を過ごしたいと思います。横浜善光寺育英会をはじめとして、私に留学の機会を与えて下さった方々に心から感謝いたします。

それではまた、機会を見つけてお便りを差し上げたいと思います。

黒田理事長と善光寺に集う皆様の、ますますの御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。

敬具

1996年1月1日

## 留学育英生からのたより

### ドイツ・ライプチヒ在住

第9回育英生 佐藤 誠司

拝啓 黒田理事長様 如何がお過ごしでしょうか。私はこの12月、1月と、大学の勉強に加えて、引越し、風邪をこじらせるなどで、つついとお手紙を差し上げるのが遅れてしまいました。申し訳ございません。

引越につきましては、私のアパートは地下にあったのですが、冬になりましていよいよ寒さと湿気が酷くなり、体調が常に悪くなり、加えて壁や天井が剥げ落ちるなど、とても住めるような状態ではなくなり、引越することに決めました。しかし、契約期間以前の引越となりますので大家と対立してしまいました。私は自分の権利がどこまであるのかを知らなければならず、弁護士や役所などを回らざるを得なくなりました。お蔭様で或程度納得のいく和解を得ました。貴重な留学の時間を失ったのは悔やまれますが、こういうことに疎い自分には良い薬だったかもしれません。また、法律相談や引越の際には、日本人、ドイツ人を始め、アフリカ人、カザフ人など、多くの友人に助けをもらい、本当にその有り難さを感じました。

只今住んでいるのは大学の寮です。ドクターコースの学生は本当は寮に入ることが出来ないのですが、ライプチヒのアパート事情の悪さ、このままでは研究が進まないということを訴えて、一部屋をもらいました。これからまた落ち着いて勉強出来ると、ほっとしております。

さて、私は3月、日本に帰ろうと思っております。その際は是非とも理事長にお会いして、留学の経過をご報告致したいと思っております。

敬具

1996年2月7日